

第1章 計画の趣旨と位置付け

1 趣旨と位置付け

呉市では、上下水道事業を取り巻く環境の変化に的確に対応し、将来のあるべき姿と目指すべき方向性を明らかにするため、平成26年1月に「呉市上下水道ビジョン2014～2023」（以下「現ビジョン」といいます。）を策定し、基本理念である「次世代につなぐ 信頼ある上下水道」を実現するため、六つの基本方針と15の基本施策により事業運営を行ってきました。

また、現ビジョンの計画期間を前期と後期に分け、実施計画として、それぞれ経営計画を策定し、安全で安心なサービスを安定的に提供するため、全力で取り組んできました。

しかしながら、節水型社会の更なる進行や給水人口の減少に伴う水道料金及び下水道使用料収入の減少、老朽化施設の増加、自然災害の頻発化・激甚化など、上下水道事業を取り巻く環境は厳しさを増しています。

国においては、平成25年3月に新水道ビジョン※1（厚生労働省）、平成26年7月に新下水道ビジョン※2（国土交通省）を策定し、上下水道の理想像や使命を示すとともに、総務省は、地方公営企業が安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である経営戦略※3の策定を要請しました。

このような状況においても、将来にわたり呉市の上下水道事業を安定的に持続し、次世代につないでいくために、取り巻く環境の変化に的確に対応し、中長期的な視点に立った事業の在るべき姿を定め、今後の事業展開の指針とするための新たなビジョンとして「呉市上下水道ビジョン2024～2033」（以下「新ビジョン」といいます。）を策定したものです。

また、新ビジョンの策定に当たっては、呉市上下水道事業経営審議会やパブリックコメント※4、呉市上下水道等事業の経営に関する懇談会など、市民からの意見や専門的な意見等も反映したものとしています。なお、新ビジョンは、総務省が各自治体に策定を要請している「経営戦略」に位置付けます。

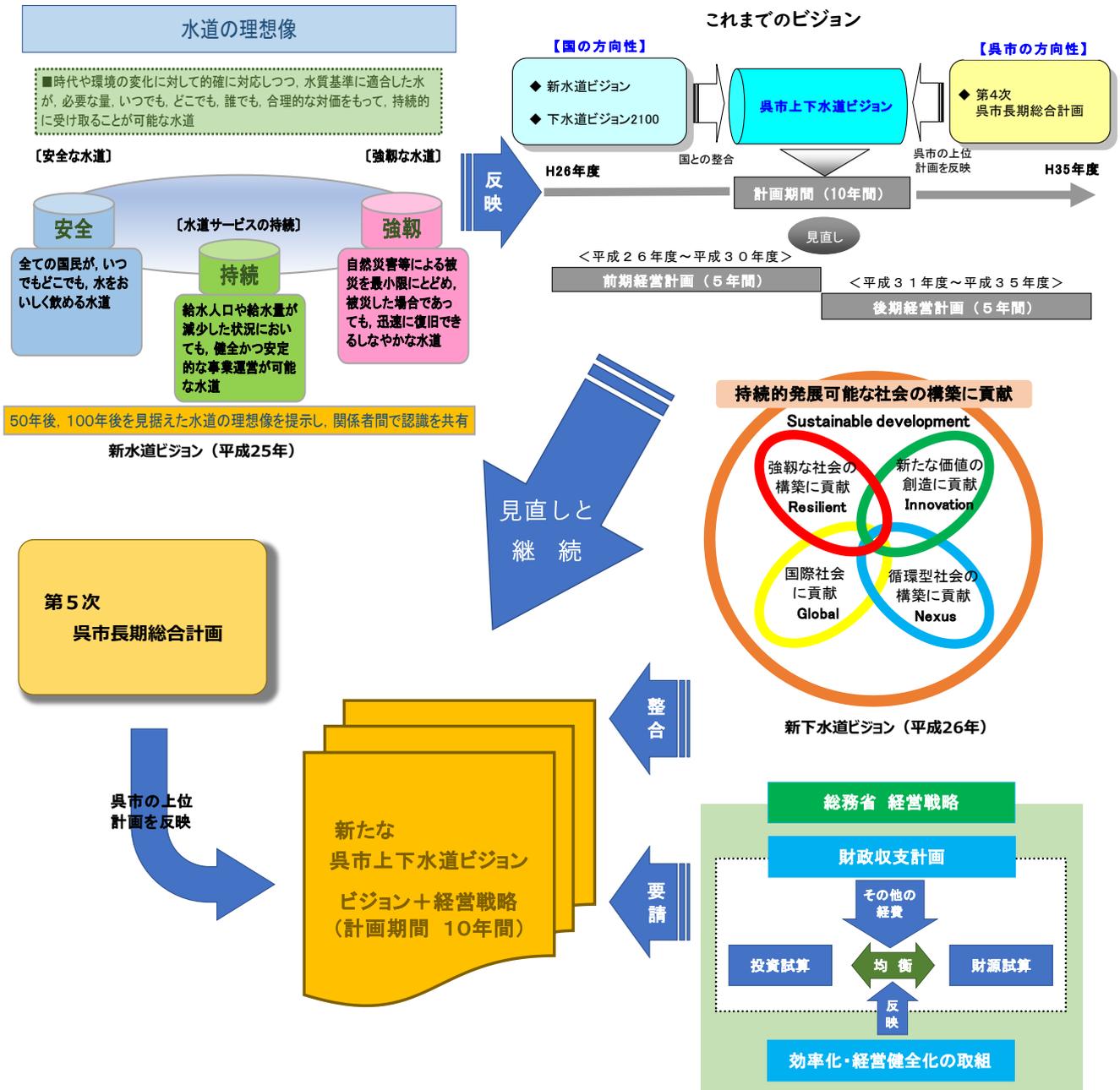
2 計画期間

新ビジョンの計画期間は、令和6年度から令和15年度までの10年間とします。

新ビジョンは策定後5年ごとに見直しを行い、見直し時点から向こう10年間の計画として改定します。ただし、5年以内に見直しが必要となるような大きな変化がある場合は、その都度見直すこととします。



呉市上下水道ビジョンの位置付け



- ※1 新水道ビジョン 平成25年に厚生労働省が策定した、50年後、100年後の将来を見据え、水道の理想像を明示するとともに、取り組みの目指すべき方向性やその実現方策、関係者の役割分担が提示された計画
- ※2 新下水道ビジョン 平成26年に国土交通省と（公社）日本下水道協会が共同で策定した、国内外の社会経済情勢の変化等を踏まえ、下水道の使命、長期ビジョン及び長期ビジョンを実現するための具体的な施策が提示された計画
- ※3 経営戦略 各公営企業が、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画
- ※4 パブリックコメント 政策等の策定に当たり、事前に案を公表して、広く市民等に意見を求め、その意見等を考慮して決定する制度